



FT技 第42064号C

ケーブル貫通部防火措置工法
「新ニジカン-壁」施工要領書

国土交通大臣認定 PS060WL-9070
旧 BCJ-防災-290評定

古河電気工業株式会社
株式会社古河テクノマテリアル

BCJ-防災-290 新ニジカン-壁 施工要領書

開口部断面積 0. 6 m² 以下・壁用

1. 使用材料

ケイカライト-MG (耐火仕切板)
ダンシール-P (耐熱シール材)
ロックファインファイバー (耐火充填材)
ボルト・ナット (M6)
アンカーボルト (M6)

2. 使用工具

ジグソー (刃は、木工用または新建材用)
振動ドリル (キリのサイズは、コンクリート用6.5mm φ)
ハンマー
スケール
スパナ
ナイフ

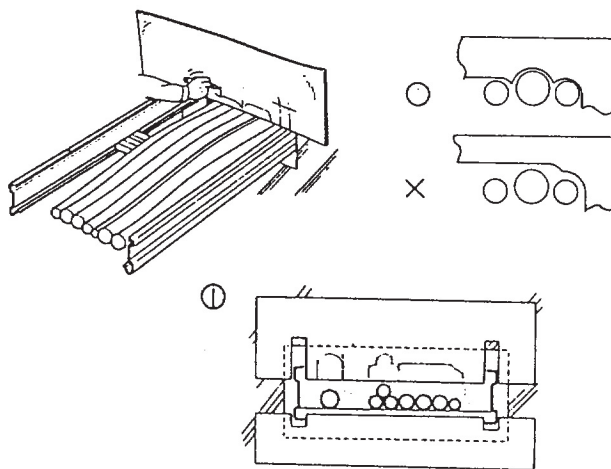
3. 施工手順 (壁厚は 150 mm以上)

(1) ケイカライト-MG の切断・加工

ケーブルラック、ケーブルの型取りを行います。(梱包用ダンボール紙等を型紙として利用すると便利です。正確に寸法取りができれば、後工程が楽にできます。)

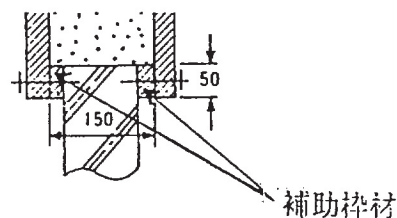
*ケーブルラック、ケーブルの型取りが大きすぎない様に切断して下さい。

① 図の様にケーブルラックの子桁上面を基準にケイカライト-MG をジグソー等で二分割します。



(2) 補助枠材の切断・加工 (壁厚 150 mm未満の場合)

壁厚が150mm 以上になるようケイカライト-MG の壁面重ね巾 (50mm以上) と同一巾で開口部周囲長分、ケイ酸カルシウム板を切断・加工します。

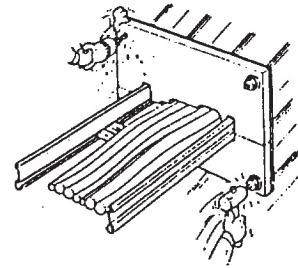


(3) 下部ケイカライト-MGの固定(片側)

位置決めをした後、一方のケイカライト-MGの上から振動ドリルで穴をあけ、ハンマーでアンカーボルト(M6)を固定します。この時、補助枠材が必要な場合は、いっしょに固定します。

*壁面が平滑でない場合はダンシール-Pをケイカライト-MGとの間に、はさみ込んで下さい。

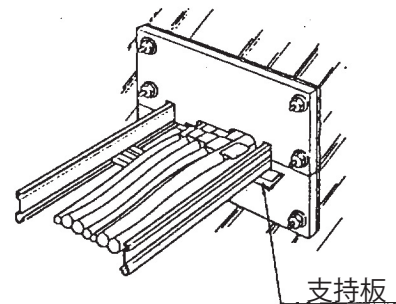
*ドリルのサイズは6.5mm φを使用して下さい。



(4) 耐熱シール材支持板の固定とダンシール-Pの目詰め(片側)

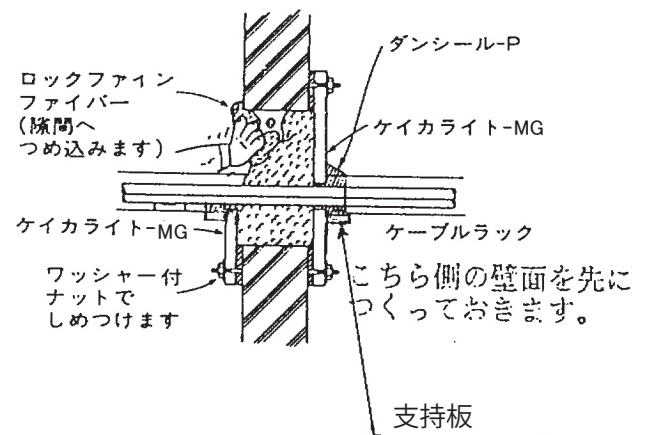
ケーブルラック、ケーブル周りのゴミや汚れを十分に落とします。
耐熱シール材支持板をケーブルラック下方に取付けます。

ケーブルの外周にダンシール-Pを長さ50mm以上の円錐台状になるよう盛り上げます。



(5) ロックファインファイバーの充填

片面のケイカライト-MGを固定した後、壁厚の隙間にロックファインファイバーを 150kg/m^3 以上(手で押しつける程度)の密度に詰め込みます。なお、補助枠を用いる場合は壁面に仮固定し、その上面までロックファインファイバーを詰め込みます。

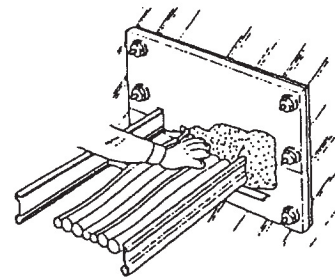


(6) ケイカライト-MGの固定(反対側)

(3) 項と同様にケイカライト-MGを固定します。

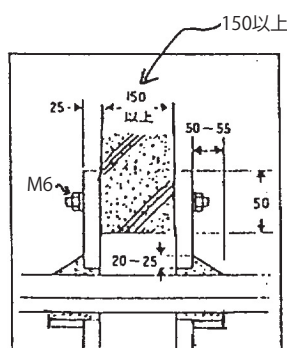
(7) 耐熱シール材支持板の固定とダンシールPの目詰め(反対側)

(4) 項と同様に耐熱シール材支持板を固定し、ダンシールPを長さ50mm以上の円錐台状になるよう盛り上げます。



(8) 完了

最終仕上がり寸法を確認して完了です。



所要寸法図
単位(mm)

